

でんきと私

石川県立小松工業高等学校 電気科 1年

岡本 紘宜

私が工業高校に入ろうと思ったのは、ものづくりが好きで、学校生活が楽しそうだったからだ。中学校で学校紹介の時間があり、工業高校の先生が話をしに来られていた。話の中に出てくる電気の話が面白く、電気科に興味を持った。生活の基盤となる電気がどのようなものなのか気になったのだ。電気科に入り、様々な知識を勉強し、電気が人々の暮らしを守り、より豊かにしていることが理解できた。

今、私たちは第二種電気工事士の資格取得に向け一生懸命に取り組んでいる。参考書には筆記試験よりも実技試験の合格率が高いと書かれていた。しかし、私には実技試験の方が難しいと感じている。短い時間の中で一つもミスをせず、完成させなければならない。私は時々ミスをしてしまう。しかし、実際の工事でそれはゆるされない。私も仕事のできるレベルを目標に頑張りたい。半年に一度の資格試験、このチャンスをなんとかものにし、合格したいと思う。

電気工事士の資格を取得すれば、第二種では家、第一種ではショッピングモールなどの大型商業施設などの配線工事ができるようになる。そうすれば、地域の人々の生活をより良いものにできるに違いない。人々の生活をより豊かにしていくために、様々な資格を取って、たくさんの人と話し、多くの考え方、価値観を身に付けていこうと思っている。